

【報告】 広報、記念事業について

1 第 70 回全国植樹祭大会イメージソングについて

平成 29 年 4 月 26 日（水）に愛知県東京事務所において、大会イメージソングの制作委嘱式を行い、岡崎市出身でシンガーソングライターの岡村孝子さん（LOVE あいちサポーターズ あいち音楽大使）に委嘱状をお渡ししました。



2 第70回全国植樹祭広報大使について

平成29年5月13日（土）に開催された平成29年度愛知県植樹祭において、大会広報大使の委嘱式を行い、マリ クリスティーンさんに委嘱状をお渡ししました。



3 マスコットキャラクターについて

(1) 最優秀賞（大会マスコットキャラクター）及び優秀賞

大会テーマ・シンボルマーク・ポスター原画専門委員会の審査を経て、5月9日に公表しました。

入賞者については、5月13日の愛知県植樹祭において表彰を行いました。

【最優秀賞（第70回全国植樹祭マスコットキャラクター）】



愛 称	森ずきんちゃん
作品の 説明	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県の「A」の字をモチーフに、愛知県の森に住む、葉っぱを巻いた元気な女の子をイメージし、キャラクター化しました。 ・手には、苗とシャベルを持たせ、大会テーマの「木に託す もり・まち・人の あす・未来」を強調し、表現しました。
受賞者	もり ひでお 盛 秀雄 氏（青森県青森市）

【優秀賞】

愛 称	トノとカブのすけ	モーリー	あいぼくん
作 品			
受賞者	じんじょう かずえ 陣 条 和榮氏 (兵庫県神戸市)	おちあい ともえ 落 合 智江氏 (名古屋市)	さいとう あむ氏 齊 藤 あむ氏 (東京都目黒区)

(2) マスコットキャラクター及びロゴマークの使用について

マスコットキャラクターを広く県民のみなさまに周知し、全国植樹祭の開催機運を盛り上げるため、実行委員会では「第70回全国植樹祭マスコットキャラクター及びロゴマークの使用に関する規程」を定めました。

是非、マスコットキャラクターやロゴマークをご活用ください。



ロゴマーク

【使用方法】

- ① 使用申請書・会社概要等申請者の事業内容が分かる資料・キャラクターの使用状況がわかる完成見本等を実行委員会事務局に提出。
- ② 使用申請を審査し、第70回全国植樹祭のPRに寄与すると認められる場合、許諾をする。

【使用申請書等の様式について】

下記のWebページに「第70回全国植樹祭マスコットキャラクター及びロゴマークの使用に関する規程」を掲載しております。

<http://www.syokujusai-aichi2019.jp/>

4 あいち“言の葉”キャラバンについて

(1) 概要

木の種をモチーフにした広報車（FUTURE SEED 号）が、各市町村で行われている農林・環境イベント等に合わせて出張キャラバンし、全国植樹祭の開催をPRするとともに、県民の皆様から未来の木づかいや森林への思いに対するメッセージを集め、全国植樹祭式典の中で活用します。



「FUTURE SEED 号」

(2) 出発式について

平成 29 年度愛知県植樹祭の式典行事内で知事や県議会議長、阿久比町長、広報大使（マリ クリスティーヌ氏）、阿久比町の全ての小中学校の児童・生徒の代表者等が、未来の木づかいや

森林に対するメッセージを記入したカード(木製)を「FUTURE SEED 号」に投函する出発セレモニーを実施しました。

ア 開催日：平成 29 年 5 月 13 日 (土)

イ 場 所：阿久比町アグピアホール



(3) 阿久比町での開催状況について

愛知県植樹祭後に開催し、多くの来場者の方にメッセージを投函していただきました。(101 枚)



5 地域植樹イベントについて

(1) 概要

全国植樹祭の開催に向け、全県的な開催機運の醸成を図るとともに県民参加による森林づくり活動を進めるため、県内各地域で植樹を実施していきます。

(2) 知多地域における実施状況について

平成29年5月13日（土）に、阿久比町^{とのこしがわ}殿越川景観整備地において「阿久比町植樹祭」を実施しました。

当日は、39人の参加者の皆さまにより、ハナミズキ5本、オタフクナンテン200本が植樹されました。



6 第70回全国植樹祭記念事業 地球未来こども塾について

(1) 概要

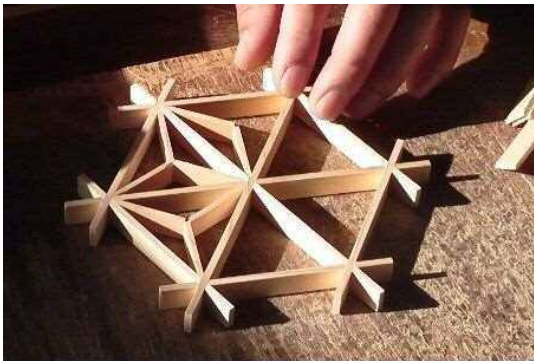
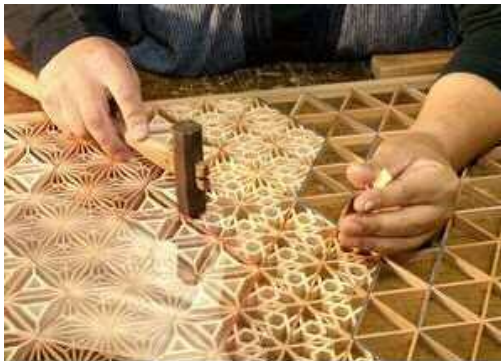
次代を担う子ども達を対象に「木づかい人^{き びと}」によるワークショップを中日新聞と共催により開催し、体験学習を通じて、木材を身近に感じ、親しみをもってもらい、木材と人とのかかわりの大切さを伝える「地球未来こども塾」を平成29年度から平成31年度にかけて6回実施する。

(2) 内容

【第1回】

開催時期	木づかい人	経歴等
平成29年11月	安藤 みさえ (豊田市)	^{ちゅうま} ○中馬のあかりを灯す会代表 ○とよたまちさと未来塾2016案内人
<p>内容 木製ランプシェード作り体験</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>※木製ランプシェードとは、スギ、ヒノキの間伐材をくり抜いた木製の筒に、柄^{がら}を掘り、和紙を張って作る「ランプのかさ」のこと。</p>		

【第2回】

開催時期	木づかい人	経歴等
平成30年3月	川口 博敬 ^{ひろゆき} (田原市)	○川口木工所代表 ○第45回全国建具展示会内閣総理大臣賞受賞
<p>内容 ^{くみこ} 組子細工教室</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>※組子細工は、細かく割った木材を手作業で組み合わせ、釘などをいっさい使わずに様々な模様を編んでいく伝統的な技法。</p>		

【第3回】

開催時期	木づかい人	経歴等
平成30年夏	青山和志 ^{かずし} (設楽町)	○工房「木と革 aoyama」代表 ○一般社団法人 設楽町公共施設管理協会「設楽の案内人」
<p>内容 森林野外散策と木工品制作教室（仮）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		

【第4回】

開催時期	木づかい人	経歴等
平成 30 年秋	都築数明 (幸田町)	○クロート・クリエーション代表 ○三河仏壇職人
内容 木製ロボット作り教室 (仮) <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">    </div>		

【第5回】

開催時期	木づかい人	経歴等
平成 30 年冬	^{ひろし} 長坂 洋 (名古屋市)	○長坂木材工業株式会社代表取締役 ○ウッドデザイン賞 2016 奨励賞受賞
内容 ^{くでじゅう} 組手什ワークショップ <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p>※組手什とは、木材として利用しない部分を活用して、1種類の部材を作り、釘等を使わずに、部材を組み合わせるだけで、棚や机、椅子など様々なアイデア作品を制作するもの。</p> <p>必要がなくなれば、解体することもできるため、東日本大震災や熊本地震の被災地の避難所で活用された。</p>		

【第6回】

開催時期	木づかい人	経歴等
平成 31 年春	たまやしょうべい 玉屋庄兵衛 (犬山市)	○平成 7 年（1995 年）に玉屋庄兵衛（九代目）を襲名 ○愛・地球博の愛知県館におけるからくり人形を使ったモニユメントの制作

内容 からくり教室



茶運び人形



愛・地球博で展示されたからくり人形 からこしなんしゃ
(唐子指南車)

※からくり人形とは、江戸時代以来多くの庶民に親しまれた木製の自動人形のこと。

※上記スケジュールや内容などについては、各講師と調整中で、変更となる可能性があります。